

図1-3-8 現在行っている社会的な活動（複数回答）
（都市規模別、性別、年齢別、仕事の状況別、住居形態別）

	自治会、町内会などの自治組織の活動	趣味やスポーツを通じたボランティア・社会奉仕などの活動	まちづくりや地域安全などの活動	生活の支援・子育て支援などの活動	伝統芸能・工芸技術などを伝承する活動	その他	特に活動はしていない
全体 (n=1,870)	26.5	17.5	5.7	3.4	2.6	3.2	60.1
〔都市規模〕							
大都市 (n=417)	17.3	11.3	4.8	3.4	1.2	4.1	71.5
中都市 (n=729)	27.8	20.6	5.3	3.3	2.2	2.2	57.9
小都市 (n=492)	31.5	18.5	6.7	4.3	3.5	2.8	55.3
町村 (n=232)	28.4	17.2	6.5	1.7	4.3	5.6	56.5
〔性〕							
男性 (n=870)	30.5	17.9	8.4	3.1	2.8	3.7	56.6
女性 (n=1,000)	23.1	17.2	3.4	3.6	2.4	2.8	63.1
〔年齢〕							
60～64歳 (n=269)	28.3	12.3	5.2	5.6	1.9	2.6	60.6
65～69歳 (n=475)	29.7	19.2	5.9	5.1	3.2	4.2	54.3
70～74歳 (n=414)	27.5	22.7	7.2	4.1	3.4	1.7	57.2
75～79歳 (n=363)	29.8	20.1	5.8	1.4	2.2	3.9	58.7
80歳以上 (n=349)	16.3	10.6	4.0	0.6	1.7	3.4	72.2
〔仕事の状況〕							
無職 (n=1,180)	25.2	17.7	5.2	2.5	1.9	2.6	62.5
有職 (計) (n=690)	28.8	17.2	6.7	4.8	3.6	4.2	55.8
〔住居形態〕							
持家 (計) (n=1,650)	28.2	19.0	6.0	3.7	2.9	3.5	57.4
賃貸住宅 (計) (n=211)	13.7	6.6	2.8	0.9	-	1.4	80.1

3 外出と自動車の運転に関する状況

(1) 60歳以上の人々の外出手段は自家用車が多い

60歳以上の人に対し、外出する際、どのような手段で外出しているのかを聞いたところ、

「自分で運転する自動車」(56.6%)と「徒歩」(56.4%)が多く、「自転車」(22.4%)、「家族などの運転する自動車」(20.5%)、「電車」(20.3%)、「バス」(20.2%)がいずれも2割程度となっている。

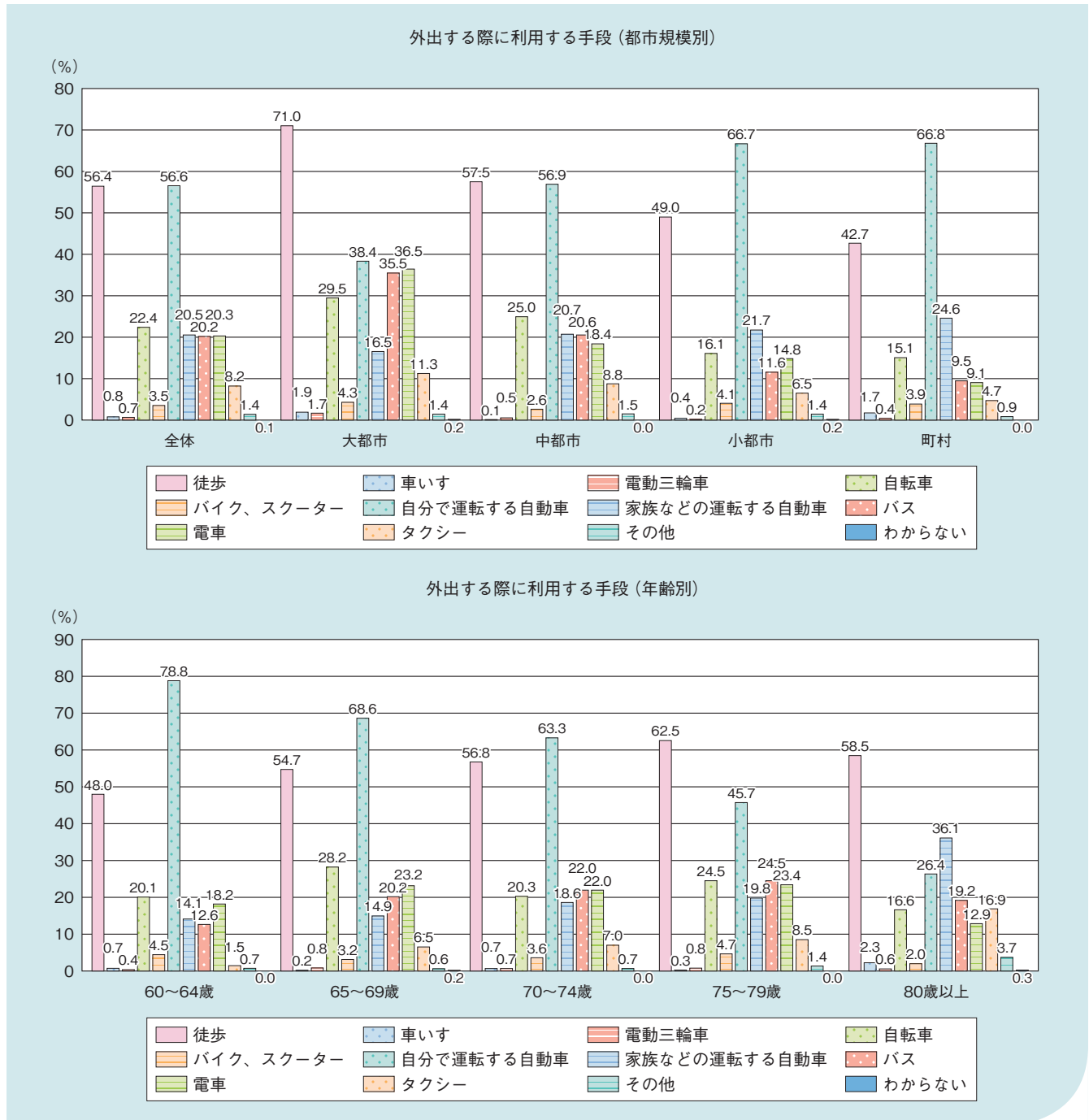
複数回答なので単純に合計できないが、「自

分で運転する自動車」が56.6%、「家族などの運転する自動車」が20.5%と、かなりの人が移動手段に自家用車を利用していることになる。

年齢別に見ると、「自分で運転する自動車」

とする割合は年齢が上がるほど減少し、80歳以上では、26.4%となるが、「家族などの運転する自動車」とする割合は、年齢が上がるほど増える傾向にある（図1-3-9）。

図1-3-9 外出する際に利用する手段（複数回答）（都市規模別、年齢別）



(2) ほとんど毎日自動車を運転する人も多い

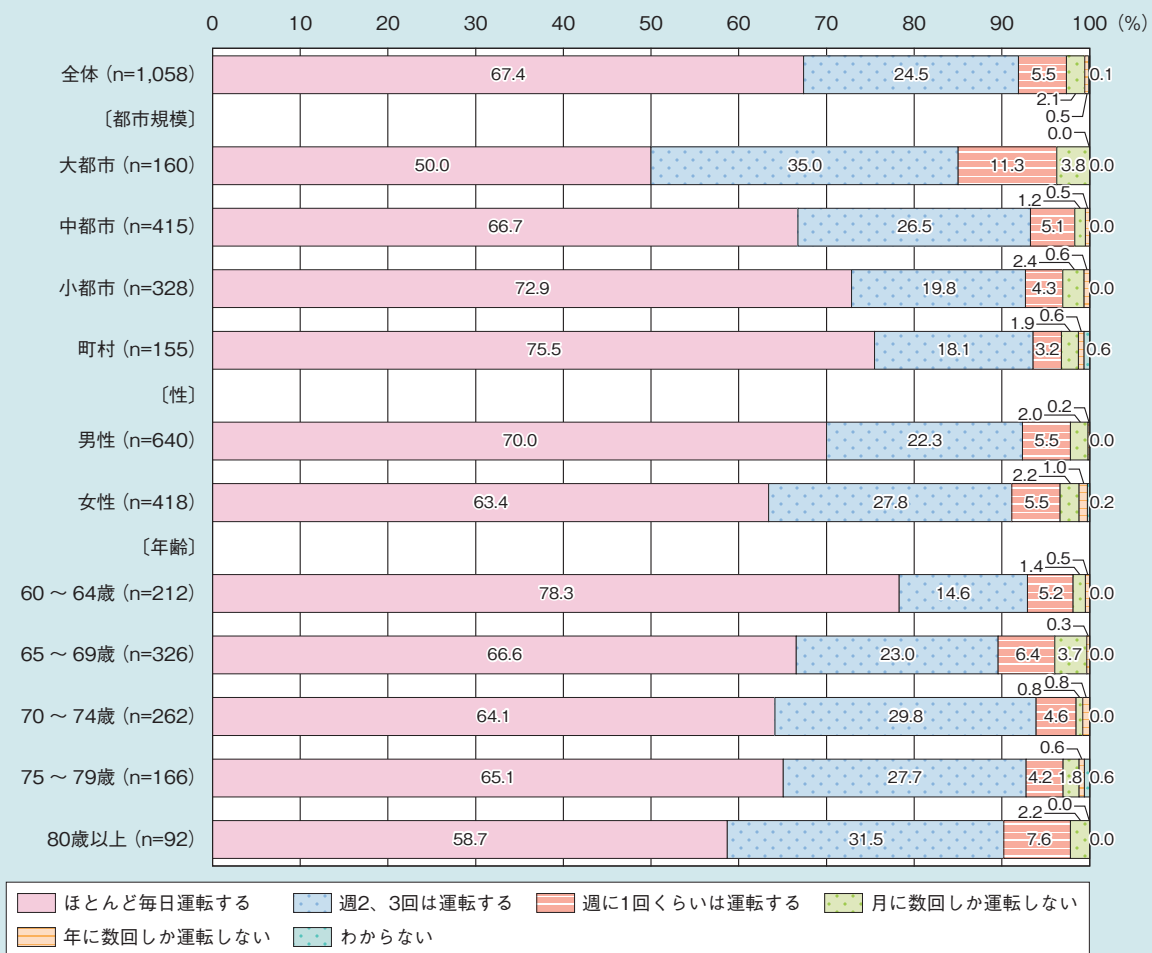
自分で運転する自動車を外出の手段としている人に対し、運転頻度をたずねたところ、「ほとんど毎日運転する」と答えた人は約3分の2 (67.4%) となっている。

「ほとんど毎日運転する」とした人の割合を都市規模別に見ると、「大都市」の50.0%に対し、「中都市」66.7%、「小都市」72.9%、「町村」

75.5%と、都市規模が小さいほど毎日運転する割合が高くなる。

また、男女別に見ると、女性より男性の方が「ほとんど毎日運転する」とする人の割合がやや高い。年齢別に見ると、年齢が高くなるほど運転頻度は少なくなる傾向があるが、80歳以上でも5割以上がほとんど毎日運転している (図1-3-10)。

図1-3-10 外出の際に自分で運転する頻度 (択一回答) (都市規模別、性別、年齢別) (外出の際に自分で自動車を運転する人=100%)



(注) 回答条件は、外出する際に利用する手段で「自分で運転する自動車」と回答した者

(3) 今後、車を運転することについての考え

自分で運転する自動車を外出の手段としている人に対し、今後車を運転することについて、どのように思っているかを聞いたところ、「一

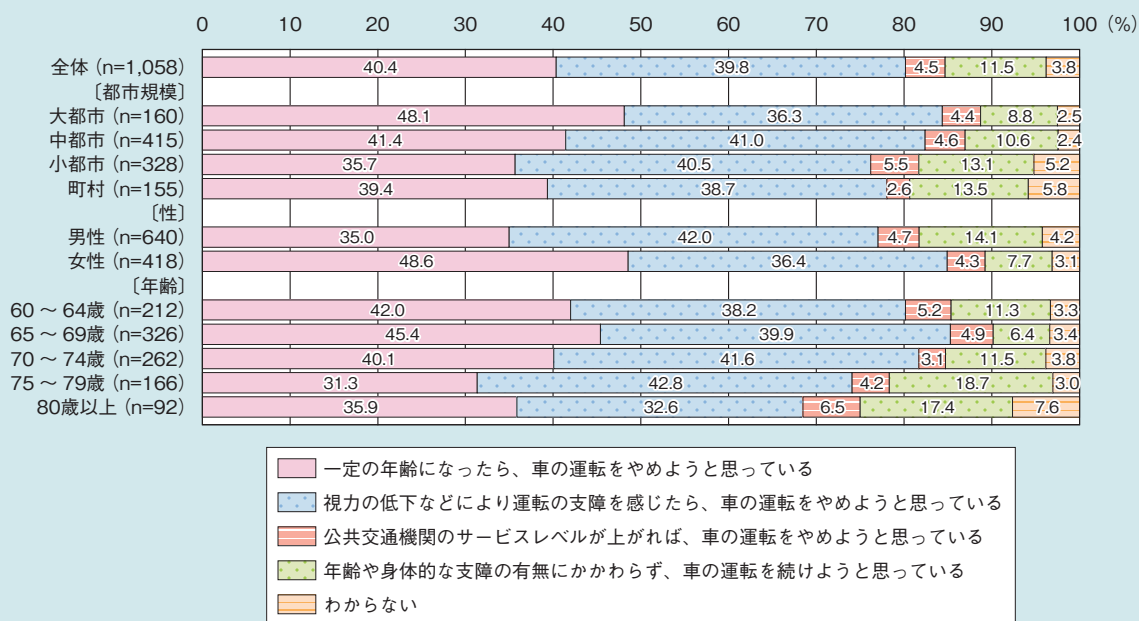
定の年齢になったら、車の運転をやめようと思っている」人が40.4%、「視力の低下などにより運転の支障を感じたら、車の運転をやめようと思っている」人が39.8%となっている。

一方で「年齢や身体的な支障の有無にかかわらず、車の運転を続けようと思っている」人も11.5%いる。この割合は、都市規模別に見ると、都市規模が小さいほど高くなる傾向がある。

また、男女別に見ると、男性の方が車の運転

を続けようと思っている割合が高く、年齢別では、65歳以上では、年齢が上がるほど、車の運転を続けようと思っている割合が増える傾向にある（図1-3-11）。

図1-3-11 今後の車を運転することについての考え（択一回答）（都市規模別、性別、年齢別）（外出の際に自分で自動車を運転する人=100%）



（注）回答条件は、外出する際に利用する手段で「自分で運転する自動車」と回答した者

4 高齢期の生活に関する意識

(1) 支えられるべき高齢者とは何歳以上とと思うか

60歳以上の人に、一般的に支えられるべき高齢者とは何歳以上だと思うか聞いたところ、「60歳以上」又は「65歳以上」と答えた人は少なく、70歳より上の年齢を挙げた人が約8割であった。

都市規模別に見ると、都市規模が小さいほど、80歳以上の年齢を挙げる割合が高くなる傾向が見られる。また、年齢別に見ると、60～74歳までは「75歳以上」が最も多いが、75歳

以上では「80歳以上」が最も多い（図1-3-12）。

(2) 60歳以上の人の約半数が、自宅で最期を迎えたいと考えている

60歳以上の人に、万一治る見込みがない病気になった場合、最期を迎えたい場所はどこかを聞いたところ、約半数（51.0%）の人が「自宅」と答えている。次いで、「病院・介護療養型医療施設」が31.4%となっている。

性別に見ると、「自宅」とする回答は、男性の59.2%に対し、女性は43.8%とやや低くなっている。さらに年齢別に見ると、男性は年齢に